

無料
(予約制)

がん医療フォーラム 2018

がんを知り、がんと共に生きる社会へ

診断と治療の進歩により、がんの治療やケアは大きく変わりつつあります。

フォーラムでは、がんをとりまく現状、信頼できる情報の共有と連携の仕組みづくり、がんになっても安心して暮らすことのできる地域づくりなど、がんを経験した当事者の視点を取り入れながら、さまざまな角度から議論します。

公益財団法人正力厚生会主催

開催日時

2018年 **12月2日**[日]

午後1時～4時30分 <開場> 午後0時30分

会場

一橋講堂(2階) 東京都千代田区一ツ橋2-1-2
学術総合センター

対象

がん患者、医療関係者をはじめ、どなたでもご参加いただけます。

参加方法

事前申し込み制[11月16日締切] ★申し込み方法は裏面参照

定員

500名

定員を超過した場合、お申し込みをお断りする場合があります。



プログラム

第1部 基調講演

地域とつなぐ、社会とつながる

司会：館林 牧子氏(読売新聞東京本社 医療部長)

講演1

患者さんとご家族の「生きる」を支える
～がんの在宅療養プロジェクトの展望～

渡邊 清高氏 帝京大学 医学部内科学講座 腫瘍内科 准教授

講演2

がん患者さんとご家族を支える地域づくり
～様々な連携から生まれる住みやすさ～

長瀬 慈村氏 柏市医師会 副会長

講演3

当事者が考える「がんと共に生きる社会」とは

桜井 なおみ氏 一般社団法人CSRプロジェクト 代表理事

講演4

がん患者がネット情報におぼれないために
当事者の立場から

池辺 英俊氏 読売新聞東京本社 医療ネットワーク事務局長

第2部 パネルディスカッション

私たちが望む「がんと共に生きる社会」とは

がん患者団体からの報告

報告
1

馬上 祐子氏
一般社団法人日本希少がん患者会ネットワーク事務局長

報告
2

岡 悦郎氏
日本オストミー協会20/40フォーカスグループ

報告
3

濱本 満紀氏
NPO法人大阪がんええナビ制作委員会理事長

報告
4

岸田 徹氏
NPO法人がんノート代表

ディスカッション

モデレーター：渡邊 清高氏 / 館林 牧子氏

長瀬 慈村氏

岡 悦郎氏

桜井 なおみ氏

濱本 満紀氏

池辺 英俊氏

岸田 徹氏

馬上 祐子氏

※登壇者は変更となる場合があります